

CAFE PREMIER RECIPE

カフェブルミエレシピ

材料(2人前)

● 鮭の切り身 2切れ
● キャベツ 60g
● 人参 40g
● 玉ねぎ 1/4個
● しめじ 30g
● えのき 30g
● ピーマン 1/4個
● 塩こしょう 小さじ1/4

● 味噌 大さじ3
● みりん 大さじ1
● 料理酒 小さじ2
● 砂糖 小さじ1

● バター 20g

作り方

- ①ボウルにAを入れて混ぜ合わせる。
- ②アルミホイルに切った野菜、鮭をのせ塩こしょうを振り、①をまんべんなく塗りバターを乗せ包む。
- ③オーブン250℃で15～20分焼く。

※詳しくは、[こころの医療センター 五色台 カフェブルミエ](#) [検索](#)

鮭と野菜の味噌バターグリル

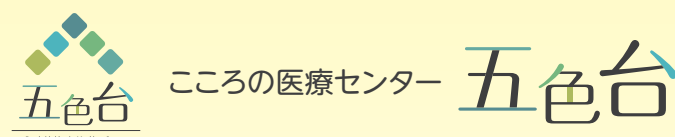


every smile

[医療法人社団五色会 会報誌●エブリスマイル]

10

October
2026



〈診療科目〉 精神科、児童・思春期精神科、
老年精神科、心療内科、内科、歯科

〈診療時間〉



診療科目	曜日	診療時間
精神科	月～金	午前 9:00～12:00 午後 13:30～17:00 (※初診の受付は16:00まで)
児童・思春期精神科		
老年精神科		
心療内科	土	午前 9:00～12:00 午後休診
内科		
歯科	月～土	午前 9:00～12:00 午後 13:30～17:00

〒762-0023 香川県坂出市加茂町963番地
TEL:(0877)48-2700 FAX:(0877)48-2886
<http://goshikidai.or.jp/>



こころの医療センター 五色台院内施設

デイ・ナイト・ケア ファミリー TEL(0877)48-2700
デイ・ナイト・ケア プルミエ TEL(0877)48-3887
カフェブルミエ TEL(0877)59-4003
デイ・ナイト・ケア オリバ TEL(0877)48-2700
デイ・ケア コラソン TEL(0877)48-2700
重度認知症デイ・ケア サンテ TEL(0877)48-2700
児童・思春期デイ・ケア パローレ TEL(0877)48-2700

医療法人社団五色会関連施設

訪問看護ステーション Gステーション TEL(0877)48-0061
香川県坂出市加茂町619番1
事業所内保育園 オリーブガーデン TEL(0877)59-4330

サテライトクリニック

五色台クリニック TEL(087)822-2311
高松市寿町1丁目4番3号高松中央通りビル8階

社会復帰施設

中讃地域生活支援センター TEL(0877)56-3200
こころのケア グループホーム 五色台 TEL(0877)48-2811
香川県坂出市加茂町700番地13
就労継続支援施設B型 ドリームワークス TEL(0877)59-4567

高齢者施設

介護老人保健施設 五色台 TEL(0877)48-3300
グループホームたまもよし
香川県坂出市加茂町194番地1
やすらぎホームさぬきのくに TEL(0877)56-3035
香川県坂出市加茂町120番地1

こころの医療センター 五色台 広報誌 every smile2026年10月号 発行日:2026年10月1日 発行所:中讃地域生活支援センター 発行人:佐藤 仁
編集者:every smile編集委員会/竹内望美・津崎真理子(こころの医療センター 五色台)
土井勇人(介護老人保健施設五色台) 吉田理恵(中讃地域生活支援センター)
※every smileを送りたい方、必要の方は、こころの医療センター 五色台までご連絡下さい。



開院記念式典永年勤続表彰



9月は当院の創立記念月であり、1日に開院記念式典が執り行われました。式典では、永年にわたり法人の発展に尽力された職員への表彰も行われました。理事長より病院開設以来、時代とともに変化する医療・福祉・社会情勢に対応しながら歩んできた職員への感謝と労いの言葉が贈られました。また、48周年を迎えた当法人が「この先50年、100年続く法人でありたい」との思いを語られました。副理事長、永年勤続者代表竹内事務部長からも、これまでの歩みを振り返り、法人への思いと今後への決意が述べられました。

職員一同、これまで築かれてきた歴史と伝統を大切に、当法人の一員であることに誇りを持ちながら、これからも地域のみなさんに信頼される医療・福祉の提供に努めてまいります。



さかいで親子お仕事体験～SAKAWORK～



坂出市・坂出商工会議所・ハローワーク坂出が主催する、小学生向けのお仕事体験イベント、「SAKAWORK」が開催されました。当院では看護師のお仕事体験とホースセラピー体験を行い、5組14名の方が参加されました。看護師体験では、防護服の着用や車いす体験、包帯の巻き方など看護師から説明を聞きながら実際に挑戦。普段なかなか体験できない「看護師のお仕事」に、子どもたちは興味津々でした。ホースセラピー体験ではホースセラピーについて学んだ後、ポニーとのふれあいを楽しみました。今回の経験を通して、医療やさまざまなお仕事に興味を持つきっかけとなれば嬉しく思います。子どもたちの「やってみたい」が、未来の一步につながりますように。

DPAT活動報告



間嶋医師と職員4名の計5名が、日本DPAT隊として令和8年熊本地震に派遣され、活動を行いました。現地での活動期間は3日間であり、宇城市や八代市、小川町圏域の避難所の巡回と精神科医療ニーズの聞き取り、避難者の診察および保健所やほかの医療チームとの相談・連携を行いました。巡回地域は半壊・倒壊している家屋、水道の供給停止、道路や橋脚の段差など地震の影響が至るところで見られました。発災から約1か月経ち、地震に対する直接の恐怖は落ち着いているように感じましたが、避難所環境や今後の生活への不安や疲労の蓄積がありました。また、避難所である体育館や防災センターの冷房は確保されていましたが、プライバシー対策は難しいと思われる場所も多々ありました。話しかけると緊張が和らぐ様子が避難者や支援者にも見られ、見守る活動の大切さを実感しました。今回の経験を今後の院内訓練や対策に活かしたいと思います。



子どもの心の診療ネットワーク事業 公開講座



9月4日に香川県委託事業として「子どもの心の診療ネットワーク事業 公開講座・シンポジウム 精神科医療における子どもの居場所づくりー地域関係機関との連携ー」を開催しました。福島県あさかホスピタルの佐久間睦貴先生よりご講演をいただき、香川県内の教育、福祉領域でご活躍されている方々と、あさかホスピタル佐久間先生より、地域連携や子どもの居場所づくりについてお話をいただきシンポジウムを行いました。ご家族や支援者など80名ほどが参加され、「それぞれの機関やあさかホスピタルでの取り組みを聞くことが出来て良かった」「子どもたちの現状や関わり方について学ぶことが出来た」等の感想をいただきました。支援者同士が顔を合わせて子どもの支援の在り方について話すことができ、あさかホスピタルでの多岐に渡る取り組みを知ることが出来る貴重な時間となりました。

オリーブガーデンハロウィン



今年もハロウィンの仮装をした園児たちが、病棟とデザインケアを回ります。「トリックオアトリート!」と元気に声をかけ、たくさんのお菓子をもらえることを子どもたちは楽しみにしています。また子どもたちのかわいらしい姿に、みなさん笑顔になることでしょう。大人も子どもも心が和む、オリーブガーデンのハロウィンパーティーです。

表紙の人

こころのケア グループホーム五色台 生活アドバイザー 本井 由香

入社32年目になります。グループホーム五色台で経理・給与業務、受付対応を主にしています。長年勤務していても、まだまだ入所者さんの対応にあたふたしていますが、周りのスタッフに助けをもらいながら、これからも一緒に関わっていけたらと思っています。

私の休日の楽しみは、ハンドメイド作家さん達が集まるイベントやアクセサリショップに行って、いろいろな作品の中からお気に入りを見つけることです。皆さんのおすすめ作家さんやショップなど、教えていただくと嬉しいです。